

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (健康支援)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
評価する領域・分野	・保健安全、給食、保健体育活動等
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校、医療機関との連携を図って児童生徒の健康管理に気を配っている」という項目では、小、高については、80%、中については77%ということで概ね理解されていると分析する。 ・「運動会(小中) 体育大会(高)は、児童生徒に応じて工夫されたよい行事である」については、小、91%、中73%、高76%とばらつきが見られ、小学部は理解されているように思われるが、中、高等部については、内容や実施場所について影響があるように思われる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 一人ひとりの健康状態の把握、健康・安全に配慮した教育環境及び危機管理体制の整備と充実に努め、安全で安心した学校生活を送ることができるよう支援する。(保健安全支援) 2 安全でおいしい給食が食べられるように、適切な衛生管理に努め、衛生環境を整える。(給食支援) 3 児童生徒の障がいの状態や発達段階を踏まえて、体育的活動を推進し、体力の向上と心身の健康と保持増進を図る。(保健体育指導)
重点目標を達成するための校内組織体制	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健主事、養護教諭を中心に各学部主事や学級担任等と連携を図り、児童生徒の健康状態について把握したり、保健指導の場を位置付けたりする。また、医療的ケア検討委員会、学校保健委員会などで学校医、指導医との連携を図る。 2 給食担当を中心には給食センターや担任、給食配膳員との連携を図り安全・安心な給食提供に努める。 3 担任や体育担当と連携を図り、体育行事、体育活動場所(グラウンドや体育館など) 体育備品や用具などの安全な使用や備品補充等について啓発をしていく
目標の達成に必要な具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎月の保健目標をより具体化し、教材・教具、掲示物などを作成して保健指導を行う。医療的ケアを必要とする児童生徒が日々の安全・健康保持ができるように、検討委員会、巡回指導を通して、病状やケアの内容について指導医と看護講師、担任等が連携を図る。 2 給食センターからの給食日より、献立表の配付、給食委員会と連携した校内放送を通じて、食事への興味・関心を高め、食事マナー、望ましい食習慣の啓発を行う。 3 体育的行事、体育活動の計画・立案の際には、安全に配慮し、児童生徒の発達の段階や課題を踏まえた内容を行う。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康状態を把握し、それを生かした保健指導、体育的活動により児童生徒の意識や生活の向上・改善ができたか。 2 給食センターと連携をして安心・安全な給食提供やお昼の放送などで給食の啓蒙を行うことができたか。 3 事故無く体育的行事や活動を行うことができたか。
取組状況・実践内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎月1回保健日より児童生徒、保護者に向けて、保健目標の理解・啓発を行った。医療的ケア検討委員会では、ケアの内容について検討を行い、安全で確実なケアが行えるように指導医から助言を受けた。 2 センターより事前にアレルギー対応の情報をいただくことで担任経由対象児童生徒で確認したり、異物混入にも職員全体で注意を図ったりすることで安全な給食提供を行うことができた。 3 小中学部の運動会(6月実施) 高等部の体育大会(9月実施)も安全に実施することができた。また、全学部の体育活動においても大きな事故はみられなかった。
評価の視点	評価
①児童生徒の健康状態を把握し、それに応じた支援ができたか。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
②保護者や関係諸機関等と連携を図り、児童生徒の実態に応じた対応ができたか。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
③職員の共通理解を深め、健康支援に関する意識を高めることができたか。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の健康状態、教室環境の把握を確実にし、それを生かして、個別に健康に関する支援を行ったり、感染症の拡大を防いだりすることができた。また、指導医の助言を受け、医療的ケアを安全、確実にすすめることができた。 ○給食提供や体育活動において給食センターや担任、各担当が連携を綿密に行うことで大きな問題なく実施することができた。 ▲医療的ケアや薬の服用や管理及び感染症対策等については、今後、組織的に様々なケースに対応できるようにしていくことが求められている。 ▲運動会、体育大会において児童生徒の実態に応じた種目やグループなどの活動内容を求められている。 	A <input checked="" type="radio"/> B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア、薬の服薬管理や食物アレルギー、感染症等への対応について、個々に応じた組織的な対応できるように整備を進める ・運動会、体育大会の種目において児童生徒が活躍できる内容を考えていく。

学校関係者評価 (平成31年2月7日実施)

意見・要望・評価等

- ・生徒各々に対し、細やかなアドバイスをいただきありがとうございます。
- ・今後も健康・安全に配慮し、安心して学校生活を送ることができるような教育環境の整備に努めていただきたい。